

NRIだより

2012年 Vol.1

2012年3月期 第3四半期
2011年4月1日～2011年12月31日

野村総合研究所
Nomura Research Institute

業績ハイライト	1
数字で見るNRI	2
セグメント別およびサービス別の概況	3
トピックス	4
株主の皆様へのアンケートより	7
会社データ	8

業績ハイライト

Financial Highlights

(単位: 億円)

	2011年3月期 第3四半期累計	2012年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	2,419	2,443	+24	+1.0%
営業利益	270	306	+36	+13.3%
四半期純利益	162	244	+82	+50.8%

第3四半期決算のポイント

- 大手証券会社向けSTAR-IV導入プロジェクトは予定通りに推移
- コンサルティングは顧客のコンサルニーズ好調で増収
- 産業ITソリューションは新規分野での事業拡大施策を積極的に遂行中

国内景気は、東日本大震災直後の落ち込みから持ち直しつつあったものの、海外経済の減速や円高、タイの洪水などを背景に、企業の景況感は悪化しました。企業の情報システム投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業にとって厳しい経営環境が続きました。このような環境の中、NRIグループは、コンサルティングからシステム開発・運用まで一貫して提供できる総合力をもって事業活動に取り組みました。また、中長期的な成長を実現するため、既存の強みをさらに伸ばしつつ、新しい分野での成長施策を推し進めています。

売上高は、IT基盤サービスを除く各セグメントで前年同期を上回り、244,379百万円(前年同期比1.0%増)となりました。証券業向けの共同利用型サービスの事業拡大にともなうソフトウェア開発が増加したことや、不採算案件が減少したことなどにより、営業

利益は30,625百万円(同13.3%増)となりました。四半期純利益は、関係会社株式売却益および保有株式に係る特別配当金を特別利益に計上したことにより、24,495百万円(同50.8%増)となりました。

2012年3月期業績予想の修正について (2012年1月27日発表) (単位: 億円)

	2012年3月期通期	
	従来予想	修正予想
売上高	3,315	3,315
営業利益	420	430
経常利益	435	445
当期純利益	320	315
1株当たり年間配当金	52円	52円

プロジェクト管理の強化等に取り組むことによる売上高利益率の向上を見込んでおり、営業利益を従来予想(2011年10月28日発表)から上方修正しました。

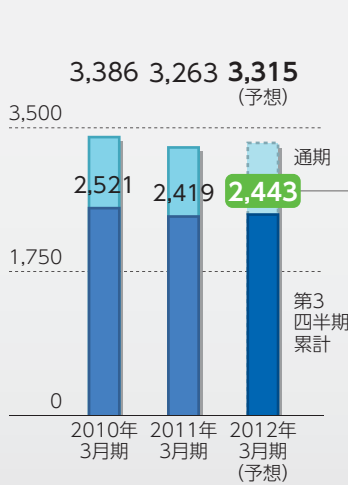
また、来年度以降の法人実効税率が下がることにともない、回収が見込まれなくなった繰延税金資産を当年度に取り崩すことにより、当期純利益の予想を修正しました。

数字で見るNRI 2012年3月期第3四半期 (2011年4月1日～12月31日)

NRI at a Glance

売上高

(単位：億円)

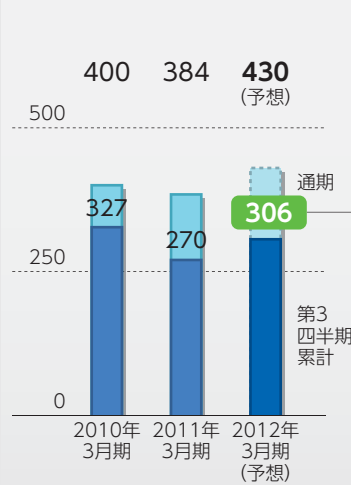


2,443億円
前年同期比 +1.0%

売上高は、コンサルティング、金融ITソリューション、産業ITソリューションで増加し、前年同期比で1.0%の増収となりました。

営業利益

(単位：億円)

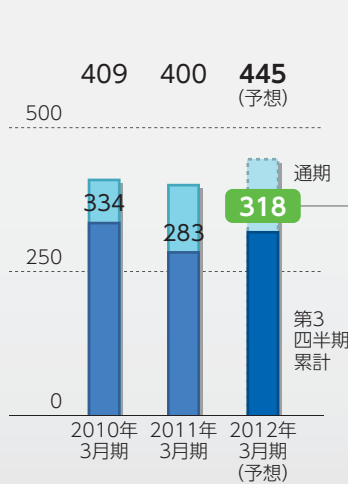


306億円
前年同期比 +13.3%

証券業の大型プロジェクトが予定通りに進んだことや、コンサルティングでの増収による収益性の改善が大きく寄与したことなどにより、営業利益は前年同期比で13.3%増の306億円、売上高営業利益率は12.5%(同1.4ポイント増)となりました。

経常利益

(単位：億円)

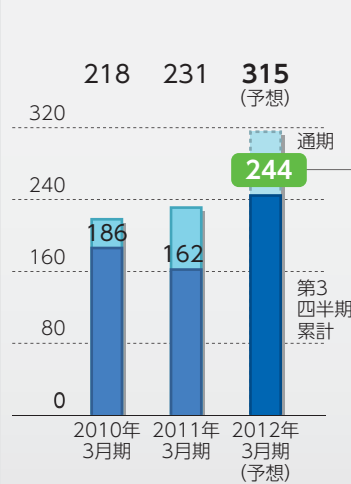


318億円
前年同期比 +12.5%

受取配当金が減少したものの営業外損益は前年同期比でほぼ横ばいで推移し、経常利益は前年同期比12.5%増の318億円となりました。

四半期(当期)純利益

(単位：億円)

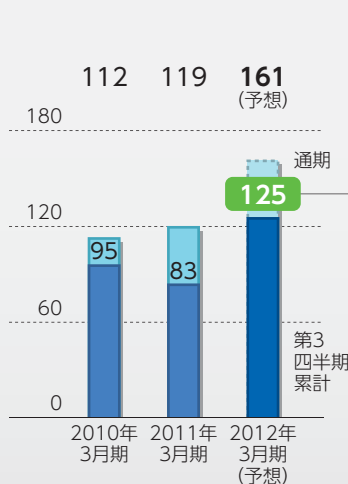


244億円
前年同期比 +50.8%

関係会社株式売却益が85億円、特別配当金が30億円発生し、四半期純利益は前年同期比50.8%増の244億円となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



125円
前年同期比 +41円

前年同期に比べ41円増加し、125円となりました。

(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり四半期(当期)純利益は円未満)を切捨てて表示しております。

2. 2012年3月期通期予想は、2012年1月27日に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

セグメント別およびサービス別の概況

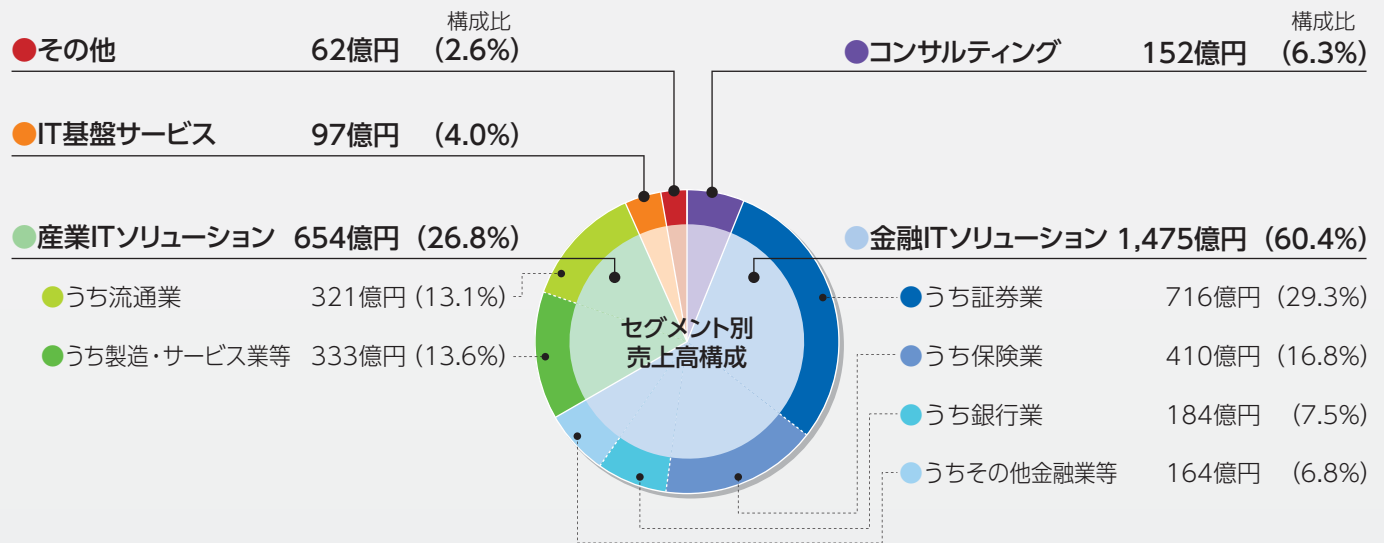
Summary by Segment and Service

2012年 Vol.1

2012年3月期 第3四半期

セグメント別売上高

(単位：億円、%)



コンサルティングは、業務コンサルティングや顧客のシステムプロジェクトの実行を支援するシステムコンサルティングが増加し、売上高は152億円と前年同期比8.8%の増収となりました。

金融ITソリューションは、証券業向け運用サービス、銀行業向け開発・製品販売が減少したものの、証券業向け開発・製品販売、保険業向けコンサルティングサービスが増加し、売上高

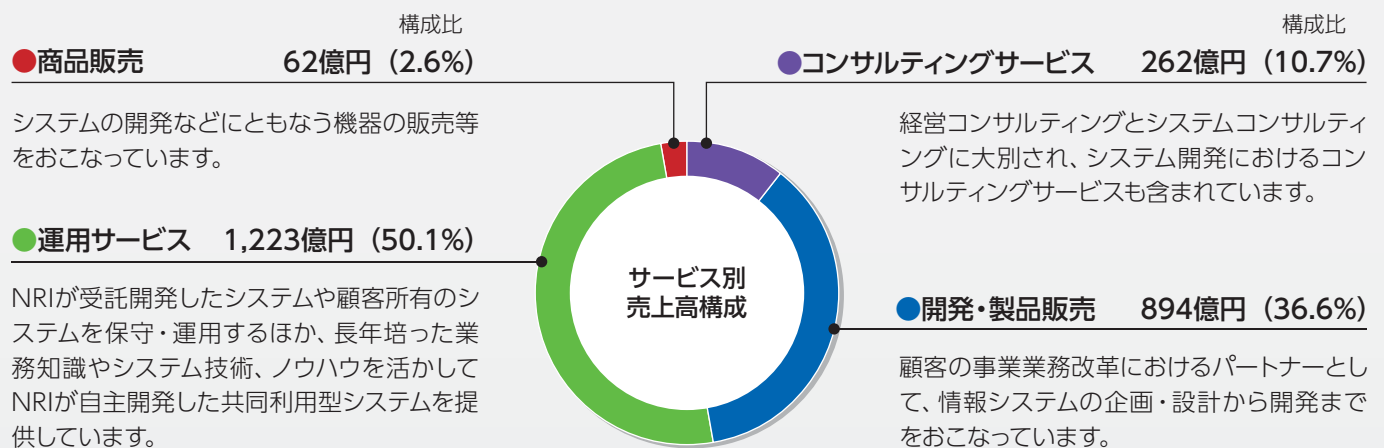
は1,475億円と前年同期比1.1%の増収となりました。

産業ITソリューションは、製造・サービス業等向け開発・製品販売や流通業主要顧客の運用サービスを中心に増加し、売上高は654億円と前年同期比2.8%の増収となりました。

IT基盤サービスは、証券業の主要顧客向けの運用サービスが減少し、売上高は97億円と前年同期比19.0%の減収となりました。

サービス別売上高

(単位：億円、%)



システムの開発などにもなう機器の販売等をおこなっています。

NRIが受託開発したシステムや顧客所有のシステムを保守・運用するほか、長年培った業務知識やシステム技術、ノウハウを活かしてNRIが自主開発した共同利用型システムを提供しています。

経営コンサルティングとシステムコンサルティングに大別され、システム開発におけるコンサルティングサービスも含まれています。

顧客の事業業務改革におけるパートナーとして、情報システムの企画・設計から開発までをおこなっています。

コンサルティングサービスでは、業務コンサルティングや金融業向けのシステムコンサルティングが増加するなどして、262億円と前年同期比13.1%の増収でした。

開発・製品販売では、証券業の大型プロジェクトが本格化し、894億円と前年同期比2.0%の増収となりました。

運用サービスでは、証券業向けが減少し、1,223億円と前年同期比2.2%の減収となりました。

商品販売では、金融業向けで増加し、62億円と前年同期比5.3%の増収となりました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

トピックス

Topics

投信に必要な文書の統合管理サービス「FundWeb Library」を提供開始

(2011年11月29日)

NRIは、投資信託を個人投資家に販売する際に必要な目論見書等の文書の統合管理をおこなうサービス「FundWeb Library (ファンドウェブ・ライブラリー)」の提供を開始しました。

管理負荷の高まる目論見書・運用レポート等の変更管理

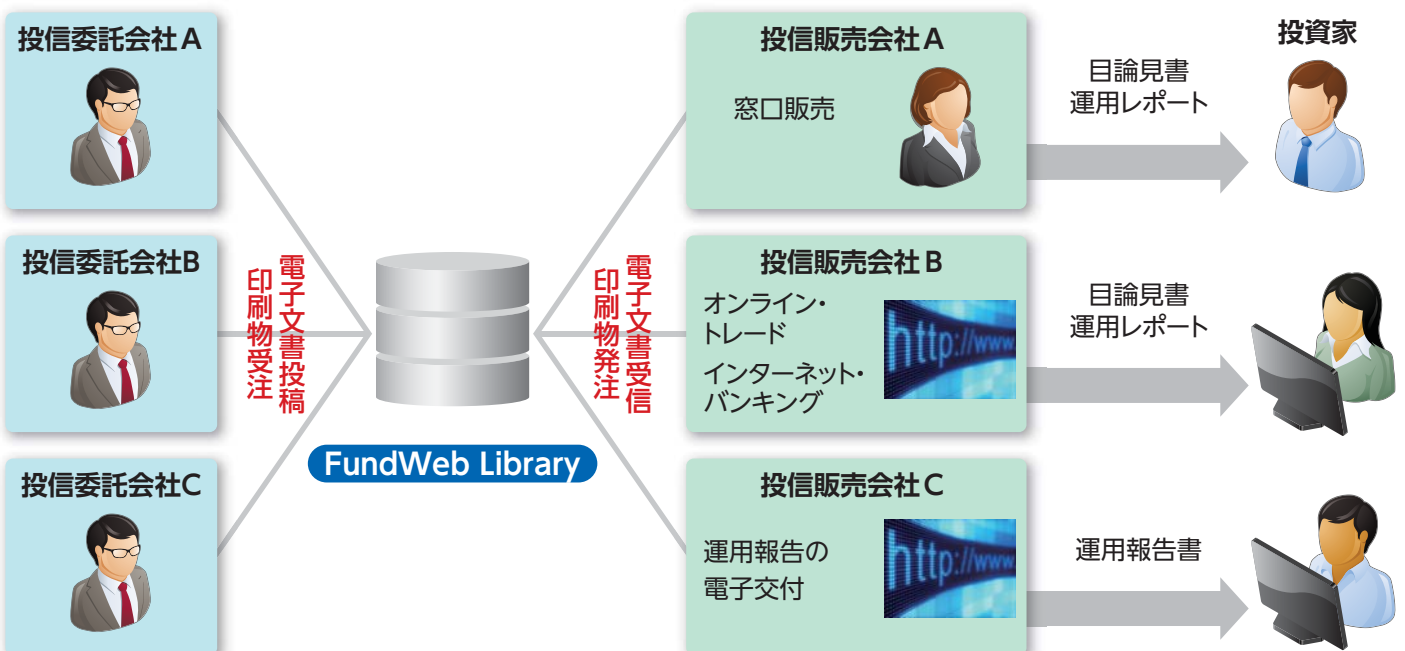
証券会社や銀行などが個人投資家に投信を販売する際には、必ず目論見書を交付する必要があります。この目論見書は投信委託会社が作成し、投信販売会社を通じて個人投資家に交付されます。目論見書は定期的に更新されますが、常に最新の内容で個人投資家に交付される必要があります。その管理は負荷の高い業務の一つとなっています。

また、運用状況を報告するために、多くの投信委託会社では運用レポートを投信販売会社を通じて個人投資家に提供しています。投信委託会社から投信販売会社への運用レポートの提供は、電子メールやWebサイトへの掲載などでおこなわれており、管理負荷が高まっています。

投信関連の文書の受発注から投資家へのWebサイトでの情報提供までを一元管理

NRIではこうした投信関連の文書管理に関わる業務負荷を軽減するため、これまで、「DeliSure」と「FundWeb情報掲示板」という2つの電子文書管理サービスを提供していましたが、さらに、業務の効率とセキュリティレベルの向上を図るため、投信文書統合管理サービス「FundWeb Library」を開発しました。

「FundWeb Library」の利用が進むことにより、投信委託会社の投信文書データが蓄積されたデータベースと、投信委託会社と投信販売会社間で情報のやり取りが可能なネットワークが実現できます。NRIでは今後、このデータベースとネットワークをベースとしたユーティリティ・サービスを金融機関に提供し、投信文書管理業務のさらなる効率化を支援していきたいと考えています。



「NRI学生小論文コンテスト2011」の入賞者が決定

～1,000名を超える大学生・留学生・高校生が日本の未来に向けて提言～ (2011年11月4日)

NRIは、大学生、留学生、高校生を対象にした「NRI学生小論文コンテスト2011」を開催しました。特別審査委員の池上彰氏(ジャーナリスト)や最相葉月氏(ノンフィクションライター)などの審査委員9名による最終審査会において、11名(10作品)の入賞者を選出しました。

このコンテストは、NRIがCSR活動の重点テーマとして掲げている「次世代の社会を担う人づくり支援」の一環として、これからの社会を担う若者に日本の将来に目を向け、考える機会を持ってもらうことを目的として2006年から毎年開催しています。

「日本から未来を提案しよう!」を共通テーマに 過去最高の1,037件の応募

今回は「日本から未来を提案しよう!」を共通テーマに論文を募集し、大学等54校、高校73校から合わせて過去最高の1,037件の応募がありました。

集まった作品の傾向として、「東日本大震災以降、より一層閉塞感が強まった日本をどうすべきか」という問題意識を持ったものが多く、“自分たちの力で新しい価値観を生み出し、15年後の未来を創っていきたい”という、若い世代の気概や、頼もしさを感じさせてくれる論文が多くありました。特に、高校生からは「停滞している大人社会への挑戦」とも受け取れる、斬新な提案が多くありました。

大学生、留学生、高校生の各部ごとの入賞者は右の通りです。



コンテストの概要

期間: 2011年6月1日(水)～9月7日(水)

対象: 全国の大学院生、大学生、留学生、高校生

共通テーマ: 「日本から未来を提案しよう!」

※審査は、応募者の学校名、名前などの属性を秘匿したうえで厳正におこなっています。

「NRI学生小論文コンテスト2011」の入賞者と 大賞の評価ポイント

大学生の部 テーマ:「2025年、新しい“日本型”社会の提案」

大賞: 日本型「もったいない社会」の提案 ～農業+交通インフラという持続可能都市モデル

波利摩 星也(はりま せいや)さん

東京理科大学大学院 工学研究科 修士1年

評価のポイント

- 農業の副産物からエネルギーを抽出し、地域の交通インフラに使用するという提案は、独創的で、しかも15年後の実現可能性を感じさせるものだったこと
- 新興国での応用が期待でき、日本のインフラ技術とのセットで輸出を目指すべきとする視野の広さがあったこと

留学生の部 テーマ:「2025年、新しい“日本型”社会の提案」

大賞: 本年は、該当作品がありませんでした。

優秀賞: 世界との共同集団を作る ～課題解決を輸出する社会を目指せ～

李 晨君(り しんくん)さん

東京大学大学院 経済学研究科 修士1年

高校生の部 テーマ:「2025年の日本を担うわたしの夢」

大賞: ふたたび大地に立つーそのために私がやれることー

伊藤 愛里咲(いとう ありさ)さん

宮城県仙台第三高等学校 2年

評価のポイント

- 放射性物質の除染を、ヒキガエルという自然の力を借りておこなうという提案がユニークで、オリジナリティが高かったこと
- 小学生のころからヒキガエルを研究し、将来は生物学者になる夢を持っている著者がその知見を社会に役立てようとする姿勢が、今回の提案から強く感じられたこと

世界の金融ITサービス企業ランキング「FinTech100」の第9位に2年連続でランクイン

～日本企業唯一のトップ10入り、グローバルレベルのサービスが評価される～ (2011年10月17日)



NRIは、米国の金融専門メディア「American Banker」「Bank Technology News」、および金融サービス企業 IDC Financial Insights による、世界の金融ITサービス企業の売上上位

100社ランキング「FinTech(フィンテック)100」において、2011年の第9位に選ばれました。

2010年の第9位に続き、2年連続のランクインとなり、日本企業としては唯一のトップ10入りとなりました。

「FinTech100」は売上のうち金融関連事業の収益が全体の1/3以上を占める金融ITサービス企業を対象として、毎年秋に選出がおこなわれます。「FinTech100」は、エントリー企業に対する調査、および、IDC Financial Insightsが独自におこなう研究や市場分析に基づき、前年度の収益と、それに占める金融ソリューションの割合を評価して決定され、世界の金融ITサービス企業のベンチマークとなっています。

NRIは今後も、グローバルな金融サービス市場において、顧客のビジネスに貢献する革新的なソリューションを提供していきます。

NRIセキュアと日本マイクロソフトがより安全なクラウドサービスの提供に向け協業

～秘密分散技術を用いた世界初の分散ストレージサービスを開始～ (2011年10月12日)

NRIの子会社で、情報セキュリティ事業を展開するNRIセキュアテクノロジーズ株式会社(以下、NRIセキュア)と日本マイクロソフト株式会社(以下、日本マイクロソフト)は、企業がより安心してクラウドを活用できるよう、安心・安全なクラウド環境の提供に向けて協業することに合意しました。

本協業の取り組みの第一弾として、「世界分散ストレージサービス(仮称)」をNRIセキュアが日本マイクロソフトの技術支援により開発し、販売を開始しました。これは、秘密分散技術を用いて重要データを非重要情報化し、世界中のデータセンターに分散保管する世界初のサービスです。

両社では、本サービスの提供が日本企業のクラウド活用の起爆剤となり、世界市場における日本企業のコスト競争力の強化や業務生産性の向上に貢献できるものと期待しています。NRIセキュアでは、今後3年間に「世界分散ストレージサービス(仮称)」を300社に採用いただき、10億円以上の売上を目標としています。



- ・3つ以上のデータセンター(DC)に分割して保管
- ・1カ所のDCから盗難・漏えいしてもデータ内容は解読不能
- ・DC1カ所が被災、あるいはデータが欠けても、残りの分散片から内容を復号

インドのアンシンソフト社を買収

～金融システム事業のグローバル展開を加速～ (2012年1月19日)

NRIはグループ会社であるノムラ・リサーチ・インスティテュート・シンガポール(NRIシンガポール)を通じて、インドのIT企業であるAnshin Software Pvt. Ltd. (以下、アンシンソフト社)の全株式を取得し、新たな現地法人として発足させることになりました。

NRIは、金融システム事業のさらなる拡充のためにはコスト競争力の強化と海外での顧客サポート体制の整備が必要であると考えています。アンシンソフト社へはこれまでNRIのI-STAR/GV(海外拠点向け証券バックオフィスソリューション)をはじめとする金融システムソリューションの開発・保守を委託しており、両社の力を合わせることで顧客から高く評価されるソリューションを作り上げてきました。同社をNRIグルー

プとして子会社化することにより、オフショア開発リソースを安定的に確保し、コスト競争力をより一層強化するとともに、金融機関のグローバル事業を支援する体制の整備を図ります。

NRIでは日系金融機関の海外進出を支えるサービスなど、事業範囲を広げています。将来的にはアンシンソフト社の有するソリューション技術やグローバルな営業ネットワークを活用して、アジア・欧米金融機関へのソリューション提供も視野に入れ、金融系グローバル関連売上の拡大を目指します。

NRIでは今後もグローバルな事業拡大に向けた取り組みを積極的に実施していきます。

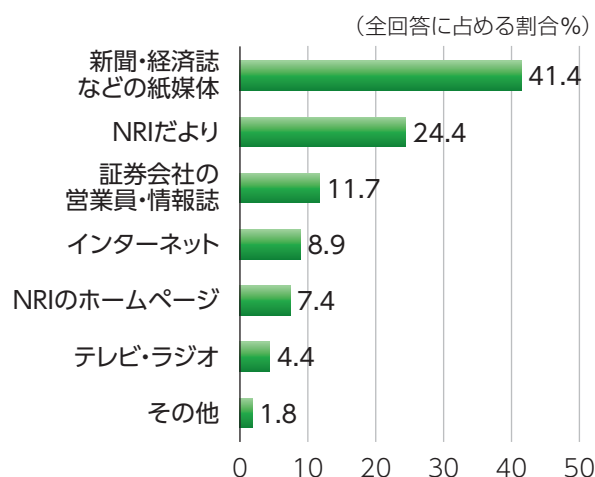
株主の皆様へのアンケートより (有効回答数：1,605)

年に2回、「NRIだより」にアンケートを同封し、株主の皆様のご意見をおうかがいしています。

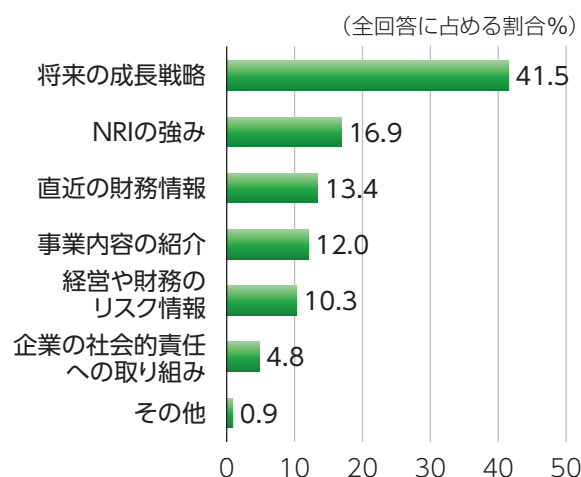
「NRIだより2011年Vol.3」に同封したアンケートに多くのご返信をいただき、ありがとうございます。以下にご紹介した以外にも、業績や配当、未来創発フォーラムなどに関して多くのご意見・ご希望をいただきました。

皆様のご期待にお応えできるよう、今後も努力してまいります。

Q. 当社の情報を入手される主な媒体は何ですか。(複数回答)



Q. 「NRIだより」に掲載してほしいと思う内容をお聞かせください。(複数回答)



会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年1月 両社が合併
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,781名/NRIグループ6,914名 (2011年12月31日現在)

株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.nri.co.jp/ ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）